

# JF日本語関連事業紹介

にほんごかんれんじぎょうしょうかい

## 児童・生徒のための 日本語わいわい活動集

著者：国際交流基金日本語国際センター

ISBN：4-88319-357-8

出版社：スリーエーネットワーク

判型・ページ数：B5判 275ページ

刊行年月：2005年7月

定価：2,625円(税込)

その他：ワークシート・CD 1枚付



日本語国際センター制作事業課専任講師 久保田美子  
にほんごこくさいせいさくじぎょうかせんにんこうし くほたましこ

国際交流基金日本語国際センターでは、2002年に発行した『中等教育向け初級日本語素材集・教科書を作ろう(改訂版)』の「れんしゅう編」をもとに、『児童・生徒のための日本語わいわい活動集』を作成しました。この活動集は、多様化する児童・生徒の日本語授業を、より生き生きと楽しいものにするを目的とし、全部で105の活動を掲載しています。この活動集の特徴と使い方をご紹介します。

### <活動集の特徴>

#### ①コミュニケーションが目標

児童・生徒が日本語の知識を得るだけでなく、日本語を使って、自分を表現したり、相手を理解したりするコミュニケーションの体験ができるように活動を考えました。

#### ②生徒同士、先生と生徒のコミュニケーション

真のコミュニケーションの体験を可能にするために、先生が質問し、その内容に生徒が答えるという形だけではなく、できるだけ、生徒同士、先生と生徒が双方向的に日本語でコミュニケーションができる活動を取り入れました。

#### ③少人数でも可能な活動

取り出し授業など、学習者数が少ない場合や、先生と生徒の二人だけでも可能な活動をできるだけ取り上げました。

#### ④練習の種類の多様性を重視

一つひとつの活動ができるだけ楽しくできるようにゲームの要素を取り入れたり、聴解、読解、会話、作文などさまざまな技能を使う活動や実際のコミュニケーションに近い活動を取り入れました。

#### ⑤<ワークシート>などの表記に配慮

本文中の<ワークシート>や<会話例>などは、そのまま教師が生徒に見せることができるよう、使用漢字は、全て振り仮名をつけました。ただし、活動集ですので、活動の内容や手順の説明は教師が読むことを想定した表記になっています。

#### ⑥<会話例>の文体や自然さに配慮

本文中の<会話例><インタビュー例><発表例>などは、基本的に丁寧体のものを載せましたが、後半の

B「総合的な活動」では、友達同士の話し方なども載せています。

## <活動集の構成>

A「語彙や文型の定着をはかるための活動」が70項目、B「総合的な活動」が35項目あります。A「語彙や文型の定着をはかるための活動」では、数字や動詞の活用形を覚えるためのビンゴゲームや、歌、イラストを利用した文型練習、インフォメーションギャップを利用した活動、インタビュー活動など様々な形の基本練習が載っています。B「総合的な活動」では、Aで学習したことが応用できるようになっていて、「自己紹介」「健康チェック」など目的のある言語行動や、日本事情に関する説明や昔話などの読み物、テーマをもとにディスカッションするものなど、複数の機能を組み合わせて課題を達成できるような活動を集めました。105の活動のうち、30の活動は付属CDを使って行う活動です。

## <各課の構成>

36課を例に、課の構成について説明します。

会話例(発表例、CDスクリプトなど):  
生徒にそのまま見せることができ  
るよう、漢字や振り仮名、文字の  
大きさなど配慮しました。そのま  
ま使うことができます。

### 活動の内容:

この課の活動概要やねらいが書いてあります。

### バリエーション:

この課の活動の応用例を載せました。生徒に合わせて利用できます。

**A36 高橋君はバスケットボールをしています**

**活動の内容**  
絵を見て人の行動や服装を説明する。  
説明を聞いてどの人が当てる。

**学習項目**  
●Vています


**手順**  
1. ペア(生徒同士、または教師と生徒)になって、それぞれ<ワークシートA>または<ワークシートB>を得つ。  
2. <会話例>のようにだれが何をしているか<ワークシート>の内容を説明し合う。  
(<ワークシート>は見せ合わない。)  
3. お互いに<ワークシート>の人の名前が全部わかったら、<ワークシート>を見せ合って、答えを確認する。

**バリエーション**  
①口頭で説明する代わりに、紙に書いて、交換する。  
②<ワークシートA>の人には「高橋・山田・伊藤・ヤマ・鈴木」、<ワークシートB>の人には「林・森・田中・ルイス・佐藤」という人の名前を書いた紙を渡し、どの人か尋ねるようにさせる。  
例) A: 鈴木さんは何の人ですか。  
B: 鈴木さんはバスケットボールをしています。  
A: 10番の人ですか。  
B: はい、そうです。


**先生へ**  
●<会話例>の「～ています」は、動作の継続を表す場合(行動の説明)と、動作の結果の継続を表す場合(服装の説明)とが交じっている。生徒の学習段階によっては、どちらか一方に絞って練習してもよい。

**会話例**  
B: 高橋君は、バスケットボールをしています。  
A: 高橋君は、4番の人ですか。  
B: はい、そうです。  
A: 田中さんは、眼鏡をかけています。  
B: 田中さんは、1番の人ですか。  
A: いいえ、ちがいます。

**ワークシートA**



**ワークシートB**



### 手順:

活動の手順がわかりやすく書いてあります。

### 先生へ:

先生に参考にしてほしい情報や注意してほしい点を書いてあります。

### ワークシート(イラストなど):

活動に必要なワークシートやイラストを生徒が見やすいように作成しました。

この活動集を使って、少人数のクラスでも「わいわい」楽しい授業が実現することを心から願っています。お使いになっての感想やご意見をぜひお聞かせください。([日本語教育通信]編集部: jfnckt@jpf.go.jp)